

図画工作科の目標		学習すること	
<p>・ 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。</p> <p>・ 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。</p> <p>・ 親しみのある作品などから、よさや美しさなどを感じ取るとともに、それらを大切にできるようにする。</p>	前期	<p>○学級掲示を作ろう～わたしの顔</p> <p>○え？名前で絵</p> <p>○板を切りぬいて</p> <p>○「脱靴室前掲示板」学年共同制作</p>	
	後期	<p>○運動会の入退場門飾り制作</p> <p>○想ぞうのつばさを広げて「校内図エコンクール」</p> <p>○野外活動思い出のひとコマ</p> <p>○浮世絵鑑賞</p> <p>○刷り重ねて表そう</p>	

図画工作科の評価

・ 図画工作科では四つの観点で評価します。			
造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分の思いをもって表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。	感じたことや見たこと、材料や場所などの特徴を基に表したいことを尾思い付いたり、形や色、用途や構成などを考えたりしている。	感覚を働かせたり経験を生かしたりしながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、様々な表し方を工夫している。	親しみのある作品などの形や色などから、表現の意図や特徴をとらえたり、よさや美しさを感じ取ったりしている。
・ 次のような方法で見っていきます。			
取り組む様子	作品	発言	つぶやき 対話 話し合い